



装置外観



装置内部

平成23年10月18日（火）
 愛知県産業技術研究所
 尾張繊維技術センター
 担当 加藤、丹羽、池上
 電話 0586-45-7871
 愛知県産業労働部地域産業課
 技術振興・調整グループ
 担当 津本、加藤（久）
 内線 3360、3361
 （ダイヤルイン）052-954-6340

愛知県産業技術研究所に促進耐候性^{※1}試験機を導入しました — 繊維、プラスチック、ゴム製品などの開発期間短縮に貢献 —

このたび、愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターに、キセノンアークランプ^{※2}式促進耐候性試験機を導入しました。

この試験機は、太陽光（紫外線）、温度、湿度、降雨などを人工的に再現することにより、繊維製品、プラスチック製品、ゴム製品などの屋外使用による劣化、変色などを評価することができます。また、太陽光の約3倍の紫外線を照射できるため、試験時間の短縮が可能となり、企業の製品開発期間の短縮にも貢献します。

この試験機の詳細については、10月26日（水）に愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センターにて開催する講演会及び試験機見学会で詳しく紹介します（参加無料、要申込み）。皆様の参加をお待ちしております。

1 装置の用途・原理

繊維製品、プラスチック製品、ゴム製品、自動車部品、塗料、金属、建材、太陽電池やデジタルカラープリントなどの耐候性を短期間に評価する装置です。

屋外環境よりも強い太陽光線や温度、湿度、降雨などを人工的に発生させ、何年もかけて起こる製品の劣化を、短期間に起こして試験を行います（ある条件で約20日間の本試験機の促進耐候性試験を行うと、屋外暴露約1年間に相当します）。

2 装置の仕様

- ・装置名：7.5kW スーパーキセノンウェザーメーターSX75（スガ試験機株式会社製）
- ・光源：7.5kW 水冷式キセノンランプ 1灯
- ・試験項目：照射、照射+表面スプレ^{※3}、暗黒、暗黒+裏面スプレ、暗黒+表面・裏面スプレ
- ・放射照度：60～180W/m²（300～400nm）
- ・試料：最大50枚（試料寸法 70mm×150mm×1mmの場合）
- ・依頼試験手数料：1時間あたり500円から
 （試験条件その他詳細については、担当まで問合せください）

3 講演会「キセノンアークランプ式促進耐候性試験機講演会及び試験機見学会」

(詳細はチラシをご参照ください)

- (1) 日 時：平成23年10月26日(水) 午後2時から午後4時まで
- (2) 場 所：愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター
3号館4階 研修室 (試験機見学会は2号館)
一宮市大和町馬引字宮浦35 (電話：0586-45-7871)
- (3) 内 容：講演「耐候性試験の特徴と最新の動向」
スガ試験機株式会社 製造本部製造技術部 係長 松井 準 氏
(講演後、試験機の見学会を行います)
- (4) 参加費：無料
- (5) 定 員：80名 (先着順)

4 問合せ先

愛知県産業技術研究所 尾張繊維技術センター

- ・担 当：加藤、丹羽、池上
- ・所在地：一宮市大和町馬引字宮浦35
- ・電 話：0586-45-7871
- ・U R L：http://www.aichi-inst.jp/

【用語解説】

※1 耐候性 (たいこうせい)

太陽光、温度、湿度、降雨など自然環境に対する耐久性(変形、変色、劣化等の変質を起こしにくい性質)のこと。

※2 キセノンアークランプ

ガラス管の中にキセノンガスを封入し、電圧をかけて放電させることで発光するランプ。その光の波長分布が太陽光と近似しており、太陽光による劣化と相関性が高いとされています。

※3 スプレ

試料に対し水分を直接噴霧させることで、試験機内で降雨状況を人工的に再現している。